

TSUTOMU KITAZAWA SCULPTURE EXHIBITION

# 北沢努の 木とブロンズの 風景彫刻

—空から森へ—

2001年作から  
最新作まで…20年の軌跡

一陽会会員で水戸市在住の彫刻家・北沢努さんは、木・金属・石膏・石などを巧みに使い分けて作品を制作してきました。2011年には、新進作家の登竜門といわれる「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」で宇部マテリアルズ賞を受賞。この受賞を機に活動の場をさらに広げ、精力的に制作を続けています。今展では、木とブロンズ、それぞれの素材が造形に映える優品を紹介します。

撮影：瀬原啓太

2021  
**11/16(火)～1/16(日)** **入場無料**  
毎週月曜日のほか12/5、12/29～1/4は休館  
**AM10:00～PM5:45** 最終日はPM5:00まで

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会期変更・中止になる場合があります。

**TALK EVENT**  
【トークイベント】  
2021  
12/18(土)・12/19(日)  
14:00～15:00

The Joyo Siryokan 常陽史料館 茨城県水戸市備前町 6-71

TSUTOMU KITAZAWA WOOD AND BRONZE LANDSCAPE SCULPTURE

## 北沢努の木とブロンズの 風景彫刻 —空から森へ—

Profile (プロフィール) 北沢 努

- 1967年 茨城県つくば市生まれ
- 1987年 茨城大学教育学部美術科入学
- 1990年 彫刻家山崎猛先生に銅型ブロンズ技法の指導を受ける  
彫刻家チェコ・ボナノッテ氏に出会い、感銘を受ける
- 1991年 茨城大学大学院教育学研究科入学  
彫刻家後藤末吉先生の指導を受ける  
彫刻家佐藤忠良、笹戸千津子先生に出会い、感銘を受ける

<個展>

- 1995年 銅型ブロンズ展 (水戸市/そま画廊)
- 2002年 木とブロンズの彫刻小品展 (ひたちなか市/ギャラリーサザ)
- 2003年 木とブロンズの彫刻小品展 (水戸市/ギャラリー手鞠子) 以後、隔年で開催  
しえるに降りる滴 (水戸市/ギャラリーしえる) 以後、2014、2016、2018年開催
- 2010年 森に棲む2012 (笠間市/UTSU工房ノブズギャラリー) 以後2015年も開催
- 2012年 1992～2012横断～連続～森に棲む (東海村/東海ステーションギャラリーB)  
森に棲む2013 (日立市/space369)

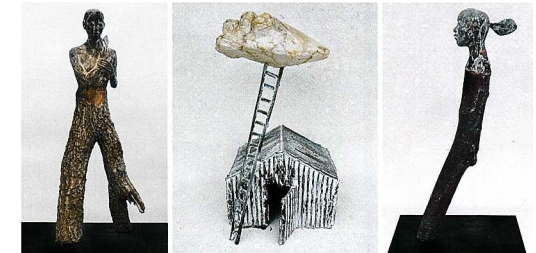
<公募展、グループ展>

- 1991年～ 一陽展 (東京都美術館) (91年特待賞受賞、92年奨励賞、93年青麦賞受賞)
- 1995年 国民文化祭とちぎ'95野外彫刻マケット展 (栃木県西那須野町)
- 1997年 第17回現代日本彫刻展マケット展 (山口県宇部市)
- 1998年 第7回現代日本具象彫刻展 (千葉県美術館)、現代具象展 (～2012) (東京都中央区銀座)
- 2001年 洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2001 (北海道虻田郡洞爺村)
- 2002年 第6回大分アジア彫刻展マケット展 (大分県大野郡朝日町)
- 2003年 第14回ダゲコ国際彫刻ビエンナーレ (イタリア、ラベンナ市フランシスコ修道院)
- 2005年 今日の水戸の美術3 - 彫刻化する空間 (水戸市立博物館)
- 2010年 第10回大分アジア彫刻展 (大分県豊後大野市朝日町)  
第24回UBEビエンナーレ (現代日本彫刻展) マケット入選 (山口県宇部市)  
第24回UBEビエンナーレ (現代日本彫刻展) 宇部マテリアルズ賞受賞 (山口県宇部市)
- 2011年 第61回一陽展 (国立新美術館) 評論家土方明可賞受賞
- 2018年 第15回KAJIMA彫刻コンクールマケット展 (鹿島K1ビルアトリウム)
- 2019年 リポーン・アートホール展 (茨城県つくば美術館)



同時開催  
**北沢努展** —ひのたての森に棲む—  
会期：2021年11月24日(水)～12月23日(木)  
会場：ギャラリーひのたて (水戸市立第一中学校内)

※一般には公開されませんが、会場の様子はFacebookでご覧いただけます。



※会場内の監督は一本匠人による演出、紙焼モノクロ写真は穂志田美代子による撮影です。  
会場内掲示テキスト/増田克史(美術館・東京都在住)

●●●●●●●● 図書展示 ●●●●●●●●

**板谷波山** 会期 2021年11月30日(火)～2022年1月23日(日)

真壁郡下館町(現・筑西市)に生まれ、昭和28年に陶芸家として初の文化勲章を受章した板谷波山(明治5年～昭和38年・1872～1963)。波山の美しく格調高い陶芸作品とその生涯を、作品集や伝記により紹介します。

- 貨幣ギャラリー【午後5時まで】  
貨幣や銀行に関する資料を展示しております。
- 史料ライブラリー  
郷土の芸術・文化や金融、歴史に関する図書資料をご覧ください。

ホームページで史料ライブラリーの蔵書検索ができます。どうぞご利用下さい。



The Joyo Siryokan 常陽史料館  
Tel.029-228-1781

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会期変更・中止になる場合があります。